

<p>学校教育目標</p> <p>(1) 生徒の自主性を尊重し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動することができる能力を育成する。</p> <p>(2) 他人を思いやる心や感動する心などを育て、豊かな人間性を培う。</p> <p>(3) 文武両道に努め、「知・徳・体」を鍛え、日々精励する生徒を育成する。</p> <p>(4) 自己実現をめざしてたくましく生き、地域・社会に貢献できる生徒を育成する。</p>

<p>目指す学校像（ビジョン）</p> <p>(1) 明るく元気な顔で挨拶し、何事にも前向きに取り組む学校 = 明るい沼田</p> <p>(2) 環境を整え、友情を育み、他人を思いやり、ともに支え合う学校 = 豊かな沼田</p> <p>(3) 自主的に学習すると共に、クラブや文化・スポーツにひたむきに取り組む学校 = 輝く沼田</p> <p>(4) 生徒・教職員がともに規律と品格を重んじ、地域、保護者から信頼される学校 = 愛される沼田</p>
--

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	担当	評価指標・評価基準	
					努力指標	成果指標
学校運営	組織を有機的・機能的にし活性化させる。	校務を整理、見直し、現実に即応できるようにする。	校務の責任分担、決済システムなど、「校務運営規定」を見直し、改善する。	管理職	4 決裁システムが改善され、責任分担がしっかり認知されている。	4 校務が、主任のリーダーシップの下、円滑・効率的に運営されている。
		危機管理を万全にし、安全防災体制を確立する。	安全教育や実地訓練を計画実施するとともに関係諸機関と連携し防犯意識を高め、危機管理体制を確立する。	安全防災委	4 関係諸機関と連携し防犯対策、実地訓練を実施し危機管理意識を高めた。	4 関係諸機関と連携が進み、見回り回数が前年度比30%アップで、安全防災意識もかなり向上してきた。
		外部評価や提言を受け、積極的に学校運営に活かす。	学校協力者会議を開催し、提言を具体化し、低い評価を改善する。	管理職	4 提言の具体化や低い評価の改善が実施できている。	4 提言の具体化や低い評価の改善が生かされ、学校改革に結びついたと評価された。
		校務の情報化・効率化を推進し、個人情報管理を徹底する。	校内情報（電子データ）の共有化および個人情報の一元化に取り組む。また、個人情報管理・成績処理・校内イントラネット等のため、校内サーバー及び各クライアントパソコンを適正に管理する。	情報教育 他	4 教師用ラインサーバー内のデータベースで校内情報全体が活用できている。	4 校内情報全体が活用でき、十分効率的になった。（利用率80%以上）
		学校経営への参画意識を高め、人材育成を図る。	今年度から配置した分掌副主任、学年副主任を機能させ、学校経営目標を達成する	管理職	4 自己申告書、面談、授業観察等によると、学校経営目標が具現化しつつある。	4 分掌副主任、学年副主任がしっかり機能し、学校経営への参画意識が高まり、意欲的な人材が育った。
					4 自己申告書、面談、授業観察等によると、学校経営目標が周知できている。	4 分掌副主任、学年副主任があまり機能せず、学校経営への参画意識も低く、人材育成も成果が現れなかった。
特色ある学校づくり	将来構想を明確にし、特色ある学校づくりを推進する。	体育コースの充実・強化を図る。	年間3回体育コース集会を実施すると共に各種目における強化計画の立案・ヒアリングなどを実施する中で、強化に対する意識の向上を図る。	体育コース	4 各種目における強化策が実行されており、成果目標達成できている。	4 全国大会における入賞種目数が4種目以上である。（専攻7種目）
		フロンティアクラスの充実・発展を企画会議を中心に、学校改革に取り組む。	フロンティアクラスの充実・発展を企画会議の議題の中核に据え、生徒の進路希望の実現に努める。	企画会議	4 Fクラスの充実・発展が学協会主体の取り組みとなった。	4 Fクラスへの取り組みが全校生徒に還元された。（3学年全体の進路第一希望達成率80%以上）
		生徒が、快適に学習・スポーツ等に取り組めるよう、教育環境の整備に努める。	バスの増便 大塚・五日市方面からの交通アクセス 放送設備更新、生徒寮の設置等積極的に各方面に働きかける。	管理職	4 各方面の理解が得られ改善の方向に進んでいる。	4 、 、 ともに改善の方向に進んだ。
					4 各方面の理解が得られ問題意識を共有できた。	3 -のうち2つが改善の方向にある。
					4 各方面の理解が得られたが具体的な方向性は示されなかった。	2 -のうち1つが改善の方向にある。
					4 各方面の理解は得られなかった。	1 現状のままであった。

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	担当	評価指標・評価基準			
					努力指標	成果指標		
学力の向上	教科指導・進路指導体制を強化する。	学ぶ意欲を持たせる。	学年通信や進路だよりで、学習意欲の向上を図る。	各学年	4	年間に10枚以上の学年通信・(進路だより)を出す。	4	ほとんどの生徒の学習意欲が高まり、授業や家庭学習に積極的に取り組むことができた。
					3	年間に8枚の学年通信・(進路だより)を出す。	3	2/3以上の生徒の学習意欲が高まり、授業や家庭学習に積極的に取り組むことができた。
					2	年間に6枚の学年通信・(進路だより)を出す。	2	半数の生徒の学習意欲が高まり、授業や家庭学習に積極的に取り組むことができた。
					1	年間に4枚の学年通信・(進路だより)を出す。	1	1/3程度の生徒しか学習意欲が高まらず、授業や家庭学習にあまり積極的に取り組むことができなかった。
					1	1日あたりの家庭学習時間1時間未満の生徒を0%にする。	4	1日あたりの家庭学習時間平均が2時間以上であった。
		家庭学習の大切さを説き、粘り強く指導する。	進路指導	3	1日あたりの家庭学習時間1時間未満の生徒を10%未満にする。	3	1日あたりの家庭学習時間平均が1時間30分以上、2時間未満であった。	
				2	1日あたりの家庭学習時間1時間未満の生徒を20%未満にする。	2	1日あたりの家庭学習時間平均が1時間分以上、1時間30分未満であった。	
				1	1日あたりの家庭学習時間1時間未満の生徒を30%未満にする。	1	1日あたりの家庭学習時間平均が1時間未満であった。	
				4	現行教育課程の課題を解決すべく、新しい教育課程の編成を始めた。	4	新学習指導要領における本校の教育課程編成を始めた。	
				3	現行教育課程の課題について、一定の整理がなされた。	3	新学習指導要領における本校の教育課程編成作業の緒についたところである。	
		生徒の学力向上に資する教育課程の編成について研究する。	教務	2	現行教育課程の課題について、議論を始めたところである。	2	新学習指導要領における本校の教育課程の検討を始めた。	
				1	現行教育課程の課題について、議論するに至らなかった。	1	新学習指導要領における本校の教育課程の検討に至っていない。	
				4	各教科で課題を明らかにし、具体的な達成目標以上の取り組みを積極的にしている。	4	すべての教科において、昨年以上の達成状況である。(県高校学力テスト・校外模試等)	
				3	各教科で課題を明らかにし、具体的な達成目標を立て、取り組みを行っている。	3	かなりの教科において、昨年より良好な達成状況である。(県高校学力テスト・校外模試等)	
				2	各教科で課題を明らかにし、具体的な達成目標を立てるに止まっている。	2	いくつかの教科において、昨年並の達成状況である。(県高校学力テスト・校外模試等)	
授業研究を推進し、学力の向上を図る。	ジ学エ力向上会議	1	各教科で「学力向上」における課題を明らかにするに止まっている。	1	ほとんどの教科において、昨年以下の達成状況である。(県高校学力テスト・校外模試等)			
		4	校外の公開授業で得た成果を、校内で共有している。	4	校外の公開授業で得た成果を共有し、授業改善が進んだ(生徒の授業アンケートで、満足度上昇が4項目)			
		3	いくつかの教科で校外に向けた公開授業を実施している。	3	校内公開授業を設定し、その成果を共有することで授業改善が進んだ(生徒の授業アンケートで、満足度上昇が3項目)			
		2	全教科で授業改善のための研究をし、校内公開授業を設定している。	2	全教科で校内公開授業を実施し、授業改善が進んだ(生徒の授業アンケートで、満足度上昇が2項目)			
		1	全教科で授業改善の研究をしている。	1	全教科で授業改善の研究をしないとどまった(生徒の授業アンケートで、満足度上昇が1目)			
生徒の進路実現のために、進路指導態勢を強化する。	教育研究	「わかる授業」について具体的に教科で研究し、成果を教科を越えて共有する。	進路指導	4	「進路学習」計画すべてを進路指導部が具体化・提案している。	4	「進路学習」計画の詳細まで見直しできた。	
				3	「進路学習」計画の4分の3程度を進路指導部が具体化・提案している。	3	「進路学習」計画の大筋の見直しできた。	
				2	「進路学習」計画の半分程度を進路指導部が具体化・提案している。	2	「進路学習」計画の一部が見直しできた。	
				1	「進路学習」計画のほとんどを学年が主導で具体化している。	1	「進路学習」計画の見直しがほとんどできなかった。	
				4	遅刻の多い生徒は部が中心に声かけなど指導を実施する。	4	遅刻集計で1ヶ月平均140人以下 年間1400人以内	
豊かな教養と情操を養い、調和のとれた人間の育成を図る。	豊かな教養と情操を養い、調和のとれた人間の育成を図る。	生徒指導の充実を図る。	生徒指導	3	遅刻の多い生徒は担任、部で連携して指導を実施する。	3	遅刻集計で1ヶ月平均141人~150人 年間1500人以内	
				2	遅刻の多い生徒は担任、部、保護者で連携して指導を実施する。	2	遅刻集計で1ヶ月平均151人~190人 年間1900人以内	
				1	遅刻の多い生徒は管理職、担任、部、保護者で連携して指導を実施する。	1	遅刻集計で1ヶ月平均191人~240人 年間2400人以内	
		生徒理解の充実を図る。	生徒指導	教育相談係がコーディネーターとなり、スクールカウンセラーの助言を得ながら、援助の必要な生徒を支える校内体制をつくる。	4	教育相談の機能が十分に機能し、担任の役に立っている。	4	教育相談の件数が多く、担任との連携も十分に図られた。(聞き取り調査でプラス評価が多い)
					3	教育相談の機能が概ね機能し、担任の役に少しは立っている。	3	教育相談の件数は多いが、担任との連携は、あまり図られなかった。(聞き取り調査でプラス評価がやや多い)
					2	教育相談の機能が機能してはいるが、担任の理解はまだ得られていない。	2	教育相談の件数があまり多くなく、担任との連携も図られなかった。(聞き取り調査でマイナス評価がやや多い)
		生徒会活動の活性化を図る。	生徒会	生徒会理事会・各種委員会が新しい企画を立案し意欲的に活動している。	4	生徒会理事会・各種委員会が新しい企画を立案し意欲的に活動している。	4	生徒会理事会・各種委員会が新しい企画を立案し意欲的に活動した。(見守りで十分)
					3	生徒会理事会・各種委員会が、企画を立案し自主的に活動している。	3	生徒会理事会・各種委員会が企画を立案し自主的に活動した。(相談中心)
					2	生徒会理事会・各種委員会の自主的な活動がいくつか定着し始めた。	2	生徒会理事会・各種委員会の自主的な活動が定着し始めた。(指導中心)
					1	生徒会理事会・各種委員会が生徒会担当教員の指示のもとのみ活動している。	1	生徒会理事会・各種委員会が生徒会担当教員の指導のもとで活動した。(指示中心)
					4	学校行事・クラブ活動への参加・活動が非常に活発であり、かなり成果も上がっている。	4	生徒の学校行事・クラブ活動への参加・活動評価アンケートで、意欲・満足度がかなり高い。
		学習時間の確保を考慮した上で、生徒会行事・クラブ活動の充実・活性化を図る。	生徒会	特別支援教育が必要な生徒に早期に気づき、該当の生徒を取りまく援助資源を最大限に活かせるためのコーディネートを行う。	3	学校行事・クラブ活動への参加・活動が活発に行われており、例年を上回る成果が上がっている。	3	生徒の学校行事・クラブ活動への参加・活動評価アンケートで、意欲・満足度がやや高い。
					2	学校行事・クラブ活動への参加・活動が積極的に行われており、例年並みの成果が見られる。	2	生徒の学校行事・クラブ活動への参加・活動評価アンケートで、意欲・満足度がやや低い。
					1	学校行事・クラブ活動への参加・活動がやや消極的で、例年並みの成果しかあげられない。	1	生徒の学校行事・クラブ活動への参加・活動評価アンケートで、意欲・満足度が低い。
		特別支援教育を推進する。	生徒指導	特別支援教育が必要な生徒に早期に気づき、該当の生徒を取りまく援助資源を最大限に活かせるためのコーディネートを行う。	4	コーディネーターが十分機能している。	4	校外の専門機関等との連携も、校内の関係者間の情報交換も十分にできた。
3	コーディネーターが概ね機能している。				3	校外の専門機関等との連携はできているが、校内の関係者間の情報交換はあまりできていない。		
2	コーディネーターがあまり機能していない。				2	校外の専門機関等との連携があまりなく、校内の関係者間の情報交換もあまりできていない。		
1	コーディネーターがほとんど機能していない。				1	校外の専門機関等との連携がなく、校内の関係者間の情報交換もできていない。		

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	担当	評価指標・評価基準				
					努力指標	成果指標			
豊かな人間性の育成	豊かな教養と情操を養い、調和のとれた人間の育成を図る。	環境美化を推進する。	全員清掃の徹底を図る。	保健厚生	4 清掃活動時間における生徒の活動実績が95%以上。(生徒による点検)	4 清掃活動時間における生徒の活動実績が95%以上。(教師による点検)			
					3 清掃活動時間における生徒の活動実績が90%以上95%未満。(生徒による点検)	3 清掃活動時間における生徒の活動実績が90%以上95%未満。(教師による点検)			
					2 清掃活動時間における生徒の活動実績が80%以上90%未満。(生徒による点検)	2 清掃活動時間における生徒の活動実績が80%以上90%未満。(教師による点検)			
					1 清掃活動時間における生徒の活動実績が80%未満。(生徒による点検)	1 清掃活動時間における生徒の活動実績が80%未満。(教師による点検)			
					4 地域と連携できる活動を推進し、クラスやクラブごとの清掃など活発に実施している。	4 地域との連携を活発に行い貢献できた。(定期的清掃)			
					3 地域と連携できる活動を整理し、ある程度実施している。	3 地域との連携が進み昨年度以上に実施できた。(地域清掃3回以上)			
		人権教育を推進する。	生徒会指導部と連携し地域清掃活動へ参加する。	教育研究	2 地域と連携できる活動を整理する。	2 連携方法を検討し、昨年度並みの活動を実施した。(地域清掃2回参加)			
					1 地域と連携できる活動を検討する。	1 連携の方法を検討するにとどまった。(地域清掃参加せず)			
					4 生徒の中から自発的に人権問題についての提言がなされ、互いに高め合うことが日常化している。	4 生徒自身が身の回りの人権侵害に気づき問題提起、解決することができた。			
					3 教職員で意識統一して人権教育を実施する。	3 学年毎に人権教育を実施して生徒の人権意識を高めた。			
					2 人権教育に関して、研修を行い、教職員の意識統一を図っている。	2 生徒の人権意識を高める教育を研究し、研修するに止まった。			
					1 人権教育に関して資料収集などを進めている。	1 人権学習に関する資料収集にとどまった。			
開かれた学校づくり	情報公開を積極的に推進し、開かれた学校づくりを推進する。	ことばの教育をさらに推進し、情報リテラシーを育成する。	読書活動・小論文指導、NIEを推進する。	・教育研究 司書教諭	4 学校全体で読書活動・小論文指導・NIEに取り組み、成果を共有しつつある	4 3/4以上の生徒が本・新聞に興味を持ち、ほぼ毎日新聞を読む習慣を身につけ、論理的に表現する力をつけている。			
					3 いくつかの学年で読書活動・小論文指導・NIEを実施し、読み取り表現する力をつけている。	3 本・新聞に興味を持ち、ほぼ毎日新聞を読む習慣を身につけた生徒が半数以上いる。			
					2 外部講師を招聘して読書指導・小論文指導・NIE研究を進めている。	2 本・新聞に興味を持ち、ほぼ毎日新聞を読む習慣を身につけた生徒は1/4～1/2である。			
					1 読書活動・小論文指導やNIEが一部でのみ実施され、停滞している。	1 本・新聞に興味を持ち、ほぼ毎日新聞を読む習慣を身につけた生徒は1/4以下である。			
					Webページにより「旬」の情報を発信する。	Webページにより「旬」の情報を発信する。	情報教育 他	4 情報が充実しており、定期的に更新を行っている。	4 アクセス数が、昨年度と比べて大きく上回った。(6千件以上/月)
								3 情報は充実しているが、更新が不定期である。	3 アクセス数が、昨年度と比べて少し上回った。(5千件程度/月)
		2 情報があまり充実しておらず、不定期的にしか更新が行われない。	2 アクセス数が、昨年度と比べて少し下回った。(3千件未満/月)						
		1 情報が充実しておらず、ほとんど更新が行われていない。	1 アクセス数が、昨年度と比べて大きく下回った。(1千件以下/月)						
		学校行事や教育活動を中心に、「沼高トピックス」を作成し、定期的に発信する。	学校行事や教育活動を中心に、「沼高トピックス」を作成し、定期的に発信する。	総務企画				4 内容が充実し、定期的に配布されている。毎月、定期的に配布されている。	4 毎月、地域や保護者に配布でき、保護者アンケートでも昨年よりかなりプラス評価であった。
								3 内容が充実し、定期的に配布されている。	3 定期的に地域や保護者に配布でき、保護者アンケートでも昨年よりプラス評価であった。
					2 内容が充実していないで、作成・配布する時期が不定期である。	2 定期的に地域や保護者に配布できず、保護者アンケートでも昨年よりマイナス評価であった。			
					1 作成・配布する時期が遅れている。	1 作成・配布が遅れ、広報活動が低調であった。			
					保護者との連携を強化する。	授業参観、学年・学級懇談、進路説明会などの行事を計画し学校を積極的に公開する。	総務企画	4 例年よりかなり積極的な取り組みができています。	4 内容的にも工夫し、昨年をかなり上回る参加者を得た。
								3 例年より積極的な取り組みを行っている。	3 企画を改善し、参加人数も昨年をやや超えた。
		2 例年並の取り組みとなった。	2 企画にも工夫が足りず、参加者も昨年並みでやや停滞気味であった。						
		1 例年より消極的な取り組みに終わった。	1 企画内容も改善されず、参加者も昨年度を大幅に下回り、低調であった。						
		異校種間連携を推進する。	中高連携、高大連携の内容を充実させる	教育研究				4 大学と交流を深め、協力して講座作りをする	4 公開講座、公開授業の参加者が10人を越えた
								3 学年と連携をとり、個々の生徒の希望する進路を把握して、該当生徒に参加を勧める	3 公開講座、公開授業の参加者が8～10人であった
					2 進路指導部と連携して情報収集し、高大連携の幅を広げる	2 公開講座、公開授業の参加者が7人であった			
					1 公開授業、公開講座の案内をする	1 公開講座、公開授業の案内をしたが参加者がいなかった			
					地域との連携を推進する。	地域で行われている様々な取り組みを積極的に紹介し、連携を深め、積極的に地域活動に参加する。	総務企画	4 地域と連携し、積極的に協力できている。	4 地域との連携を活発に行い貢献できた。
								3 地域の活動を紹介し、生徒・職員がある程度参加し、協力している。	3 ボランティア活動など、地域との連携が進み、昨年度以上に参加した。
		2 地域と連携できる活動を校内で紹介している。	2 連携方法を検討し、昨年並みの活動に参加できた。						
		1 地域と連携できる活動を検討する。	1 連携方法を検討し、紹介するにとどまった。						